

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称： ブリーチングスピリッツペースト
 製品コード： BS-101P
 会社名： 株式会社ビアンコジャパン
 住所： 京都市南区吉祥院長田町 47 番地
 担当部門： 営業企画部
 担当者： 鈴木伸哉
 電話番号： 075-693-5531 (代表)
 緊急時の電話番号： 075-693-5531 (代表)
 F A X 番号： 075-693-5522
 メールアドレス： bianco@biancojp.co.jp
 推奨用途及び使用上の制限： サビ除去

2. 危険有害性の要約

GHS分類

人健康有害性： 皮膚腐食性・刺激性 区分2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A
 上記で記載がない危険有害性は、「分類対象外」か「分類できない」又は「区分外」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：
 危険有害性情報：
 注意書き：

警告
 皮膚刺激性
 強い眼刺激性

【安全対策】
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 取り扱い後は良く手を洗うこと。

【救急処置】
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
 皮膚又は付着した場合、石鹸と流水又はシャワーで洗うこと。
 眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 皮膚刺激がある時、眼刺激が持続する時は医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
 直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】
 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：	混合物
化学名又は一般名：	-
成分及び含有量：	チオグリコール酸アンモニウム 40%以上 水 植物粉末 10%未満 その他
化学式及び構造式	$\text{HSCH}_2\text{COONH}_4$
分子量	-
官報公示整理番号 化審法 安衛法	(2)-1355 チオグリコール酸 (1)-391 アンモニウム 公表化学物質
CAS No.	5421-46-5
危険有害性成分	チオグリコール酸アンモニウム

4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：	皮膚を流水と石鹼で洗う。 皮膚刺激、発疹が生じた時は、医師の処置を受ける。
眼に入った場合：	水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 まぶたを親指と人差し指で広げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。 眼刺激が持続する時は、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合：	直ちに口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 気分が悪い時または身体に異常を感じる時は、医師の治療を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤：	特になし
特定危険有害性：	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上から消化活動をする。 環境に影響を出さないよう、出来るだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置：	漏洩区域は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩エリア内に立ち入る時は、保護具を着用する。 風上から作業をし、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
環境に対する注意事項：	河川、下水道、土壌に排出されないように注意する 海上で薬剤を使用する場合は、運輸省令の規定に適合すること。
回収、中和：	漏洩物をウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で適正に廃棄処分する。 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法・機 材：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策：	周辺の発火源を速やかに取り除く。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：	ミスト、蒸気、ガス、粉じんの発生を防止する。 強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気：	必要に応じて、局所排気又は全体換気を行う。
安全取り扱い注意事項：	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。 眼および皮膚への接触を避ける。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取り扱い後は良く手を洗う。
接触回避：	湿気、水、高温体との接触を避ける。

保管

技術的対策：	保管場所は、製品が汚染されないように清潔にする。
保管条件：	直射日光や高温高湿を避ける。 容器を密閉して冷暗所に保管する。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質：	強酸化剤、水反応可燃性物質
容器包装材料：	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)：	日本産業衛生学会(2009年版) 設定されていない。 ACGIH(2009年版) 設定されていない。
設備対策：	この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 ミスト、粉じん、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。

保護具

呼吸器用の保護具：	呼吸器保護具(防じんマスク、簡易マスク)を着用する。
手の保護具：	保護手袋を着用する。
眼の保護具：	保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取り扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	白色ペースト状(20)
臭い：	アンモニア臭
pH：	7~8
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点	なし(消防法の試験方法による)
爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度(空気=1)：	データなし
比重(密度)：	1.24g/cm ³ (25)
溶解度：	データなし
オクタノール/水分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
臭いのしきい(閾)値：	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、ガス)：	該当しない

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取り扱い条件で安定である。
危険有害反応可能性：	強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。
避けるべき条件：	日光、熱。
混触危険物質：	強酸化剤、水反応可燃性物質。
危険有害な分解生成物：	熱分解により、窒素酸化物、硫酸酸化物、一酸化炭素ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性：	経口ラット LD50 3500mg/kg (チオグリコール酸アンモニウム) (RTECS) から、40%含有量換算すると、LD50 8750mg/kg になることから区分外とした。
	経皮 データがないため分類できない。
	吸入(蒸気) データがないため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性：	ウサギ 17.5% (RTECS)(チオグリコール酸アンモニウム) 皮膚刺激性のデータがあることから区分2とした。 皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	ウサギ 17.5% (RTECS)(チオグリコール酸アンモニウム) 眼刺激性のデータがあることから区分2Aとした。 強い眼刺激(区分2A)
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	知見なし。
生殖細胞変異原性：	データがないため分類できない。
発がん性：	IARC、ACGIH、NTP、EPA に記載がないため、分類できない。
生殖毒性：	データがないため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)：	情報がなく分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)：	情報がなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性：	データがないため分類できない。
製品に関する有害性情報：	本製品としては、安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

生態毒性：	データなし。
残留性/分解性	チオグリコール酸アンモニウムのデータ 分解度：100% by BOD (経産省既存化学物質安全性点検) 生分解性は良好である。
生物蓄積性	データなし。
土壤中の移動度：	水溶性のため、雨水などにより、土壤中を移動しうると推測される。

13. 廃棄場の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 本製品を含めた廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。(参考・燃焼法) 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイ藻土、木粉(おが屑)等に吸収させて、アフターバーナ及びスクラバ付き焼却炉の火室で焼却する。
--------	---

汚染容器及び包装： 容器を清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）

陸上規制情報	規制なし（非危険物）
海上規制情報	規制なし（非危険物）
航空規制情報	規制なし（非危険物）
国連番号：	非該当
国連分類：	非該当
品名：	非該当
海洋汚染物質	非該当
特定の安全対策：	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
消防法：	非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）：	非該当
航空法：	非該当
船舶安全法：	非該当

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社（2007）
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧（増補版）	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物（総論編、無機編、有機編）	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS 分類結果データベース	nite（独立行政法人 製品評価技術基盤機構） HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証も成すものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので、万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。また記載の注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』と言う認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の、指導の下で取り扱うことを警告します。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。